

## 地図と巡検を愛した白野さんから学び楽しんだ地理

—高校地理教員としての研修活動歴を通して—

上越教育大学 志村喬

白野先生の県立高校地理教員としての最初の着任は、十日町高等学校でした。私もその頃、新採用として隣町の川西高等学校に勤務していました。白野先生は私より6歳年上で、既に私立学校の経験が豊富なベテラン教師でしたが、白野さんと呼ばせていただきながら交流を深めることになりました。思い出されるのは、ともかく楽しく地理の研修をしたことです。そこで、白野さんとの研修体験や白野さんから学んだことを記したいと思います。

私の記録にある範囲に限るものですが、白野さんの研修・研究成果として公になっているものは次の通りです。

1988 (昭和 63) : 「なぜ、大改訂しようとしているのだろうか。」。「新資料集」編集委員会  
だより (新潟県高等学校教育研究会社会科部会地理分科会), 第 2 号。

1989 (平成元) : 各国一覽. 新潟県高等学校教育研究会社会科部会地理分科会編『新潟県  
高等学校 地理学習帳 (初版)』 pp.78-85.

1991 (平成 3) 8 月 20 日 : 新潟県立教育センター高校地理研修会西蒲原巡検 (企画・案内)

1996 (平成 8) : ドイツの教育制度—その現状と問題点—. 新潟県立新津高校研究紀要,  
第 28 号, pp.15-26.

1997 (平成 9) : 新課程の地理における地図学習. 地理歴史・公民研究 (新潟県高等学校  
教育研究会地理歴史・公民部会編), 第 35 集, pp.52-67.

1997 (平成 9) : 地形図の全国整備と軍機の保護. 新潟県立新津高校研究紀要, 第 29 号,  
pp.24-34.

2000 (平成 12) : 伊能図と伊能測量. 新潟県立新津高等学校研究紀要, 第 32 号, pp.33-49  
(「新潟地理フォーラム 2004 (第 1 号)」 pp.37-53 に転載).

2005 (平成 15) : 遠くへ行きたい—巡検の効用に関する一考察—. (「新潟地理フォーラム  
2004 (第 1 号)」 pp.81-82)

2006 (平成 16) : 越前伝説. 新潟地理フォーラム, 第 2 号, pp.44-16.

2007 (平成 17) : 中国正史倭国・日本国伝再読—古代中国は我が国をどのようにとらえて  
いたか—. 新潟地理フォーラム, 第 3 号, pp.1-16.

2008 (平成 18) : 『塵袋』を読む. 新潟地理フォーラム, 第 4 号, pp.72-74.

### 『地理学習帳』編集を縁の下で支えた世界地誌に強い白野さん

最初に白野さんと具体的な話をしたのは 1988 年 4 月ではないかと思う。当時、若手の  
県内高校地理教員有志は、新しい地理副教材を作製しようとしていて、私は編集委員会事  
務局を務めていた。その第 1 回目の編集会議に白野さんが参加しており、編集方針につい

て発言したからである。編集委員長の西山先生が回想<sup>1)</sup>しているように、「今、発想の大転換を！」と題された本質を突く迫力ある意見は、編集内容を方向づけるものであり、事務局の私は大いに勇気づけられたものだった。さらに、編集の最終段階で世界地誌情報の一覧表を巻末に付さなくてはいけなくなった時、「俺が原稿をつくる。週刊朝日の『世界の地理』なんか参考にすれば良いだろう。」と言って担当してくれて本当に助かった。同時に、白野さんが世界地誌に詳しいことに驚かされた。白野さんは十日町の教員住宅、私は川西の教員住宅にいて、原稿持参で行ったり来たりしたのが懐かしい。

### 地元も世界も巡検する白野さん

その後、私は新潟向陽高校、白野さんは新津高校に勤務となった。私が異動して2年目の初夏の土曜日かテスト期間の午後だと思うが、白野さんが勤務校へ突然やって来た。聞けば、「新しくワンボックス車を買ったんだテ、見せびらかしにきたんだ。それから、新婚だから、志村さんの奥さんにも挨拶に来た。志村さんの教住行って、奥さんの顔見て、お茶飲んで、それからどっか巡検行こうサ」とのこと。そこで自宅に寄った後、砂丘地園芸を主に研究している聖籠町の県立農業研究センターなどへ行った。その時、「今日は二人だけど、近くの地理仲間では今度は巡検しようサ」と白野さんは言い、後日、白野さん案内の白根郷巡検に繋がっていった。明治初期に信濃川築堤があったこと、現在でもその遺構が分かることを、この時私は初めて知った。

このような自主的・ゲリラ的巡検だけでなく、当時毎年実施されていた新潟県立教育センターの巡検講師も白野さんは1991年に務めている<sup>2)</sup>。この時の巡検は、白野さんの故郷西蒲原を巡るもので、鎧潟干拓地に開校された県立農業大学校・興農館高校訪問（高校は現在廃校）、後に巻町長になる笹口さんから酒造りについて講演を受けた笹祝酒造見学、国内で唯一残っている類産ナシの原木（国指定天然記念物、旧月潟村）の現地確認など、西蒲原に詳しい白野さんならではの巡検だった。その他、高教研地理分科会の研修会・巡検<sup>3)</sup>でも常連で、1993年の燕での研修・巡検では校務の都合上、夜の懇親会からの参加となり、「五時から男」として皆に話題を提供してくれた。

さらに、1996年の論文にもあるように、ドイツをはじめ各国へも出かけている。ドイツの話では、「バーデン・バーデンで風呂に入った時の写真がこれだテ。何たって「温泉の温泉」だっけネ！」と満足げに見せてくれたのが印象深い。

ともかく、巡検を通して学ぶことが大好きな白野さんだった。

### 地図教育と戦時改描図研究の第一人者

白野さんは地図好きだった。例えば、日本で唯一の地図専門学会である日本国際地図学会においては数少ない新潟県内会員で、「学会誌に毎号添付されている地図がいいよねー」と言っていた。

1) 西山耕一(2004)新潟県地理学習帳の経緯。新潟地理フォーラム2004(第1号)pp.29-36に詳しい。

2) 資料「高教研社会科部会地理分科会等の活動に関する年表」参考

3) 注2)参照

そして、地図教育に熱心で、生徒への教え方をよく勉強していた。1997の「新課程の地理における地図学習」における方位に関する指導法の説明はとりわけ見事で、私をはじめ多くの教員にとって目から鱗だった。

また、意図的に戦時中に改変された地形図である戦時改描図に関する研究は、全国レベルといえる。その一部は1997年「地形図の全国整備と軍機の保護」にみられるし、1998年12月の第4回談話会でも話題提供している。これらは、茨城大学の中川浩一先生（地理学・地図学・地理教育学）のもとへ内地留学した成果と思う。厳しいので有名ななかの中川先生から白野さんはかわいがられ<sup>り</sup>、戦時改描図について学会誌「地図」への投稿も勧められたと聞いたが、それが実現しなかったのは残念だった。戦時改描図研究は、その後ようやく進展がみられるようになってきたが、白野さんが全国に問うていけば、パイオニアだったのではないかと思う。

新潟県立図書館所蔵の旧版地形図を片っ端からチェックし、戦時改描の疑いがある地図リストを作成していたことには頭が下がった。同時に、「改描の恐れがあることを使用者に知らせる注意でも付けたらと図書館に行ったんだけどね、、、」と嘆いていたことも忘れられない。

### 歴史文化・宗教に詳しく「地理」が好きな白野さん

良寛の人となりに関する白野さんの解釈・説明は、人間味に溢れるものでした。良寛解釈をはじめ、理系人間的な私からすると白野さんの歴史文化・宗教に関する教養は羨ましかった。

新潟地理フォーラムに載った「越前伝説」は、越前浜の県立青少年研修センター所長として赴任した白野さんが、地元集落の人と酒を酌み交わしながら集めた情報を歴史的に解釈したものだし、2007年の「中国正史倭国」も歴史文献に関する論考。どちらも、白野さんらしい好奇心と遊び心から生まれた作品である。

そして極めつけは、2008年の『『塵袋』を読む』。表題を見た時は意味が分かりませんでした。読みはじめたら本当に「チリ」を読むだった。「ランゲルハンスト島巡検中で集中力が持続せず、4ページが精一杯でした」という病床からの投稿であったが、「結局著者も分かっていない、分かっていないことをなぜ記したのかも分からない。」といった文章に、いつもの白野さんの姿が見えて若干安堵した。

### 白野さんを囲んだ教え子・仲間、そして新潟地理談話会

白野さんは人を惹きつける魅力ある人だった。それは地理に限らない。1999年に私が筑波大学に内地留学していた時、白野さんが筑波の教員研修センターへ長期出張で来た。早速、白野さんから「新津高校で教えた生徒で筑波大にいるのを集めるから、志村さんも一緒に飲もうサ。」との電話があった。吃驚したのは、地理等の専攻を問わず白野さんを慕って集まってくる教え子の多さだった。そして集うのは教師も同じだったし、新潟地理談話会もその力が大きかった。1996年に談話会をはじめた時、どこまで続けられるのか不安があった。そんな時、「ともかく毎月集まること。人数が少なくても、集まるのが

---

1) 中川浩一茨城大学名誉教授も2008年夏、逝去された。

大事ダテ」と言った白野さんの言葉は、とても頼もしかった。

### 遠くへ逝ってしまった白野さん

そんな白野さんが 2003 年、体調を崩して入院した。島先生と堀川先生と燕労災病院へお見舞いに行った時、白野さんが支えてくれた談話会の記録を残そうと決意し、『新潟地理フォーラム』が始まった。療養中なので、新津高校の紀要にかつて書いた「伊能図と伊能測量」を再掲載すると私は白野さんに言っていた。でも、白野さんは、「遠くへ行きたいー巡検の効用に関する一考察ー」を送ってきた。

内容は、見つかった悪性リンパ腫（初めて見た洋画の主人公から「オードリー」という名前をつけている）への免疫力を高めるのは楽しんで笑うことであるから、自分の場合は「遠くへ行く」巡検が一番の良薬であるとの説明で、具体的効能として次のように書いてきた。

やっぱり旅だ！巡検だ！遠くへ行きたい。

- ・目的地も考える。（これだけでも楽しい）
- ・地図を広げる。（もうワクワクする）
- ・食文化を調べる。（口の中が唾液でいっぱいになる）
- ・地理的・歴史的側面から巡検ポイントを探る。（病気を忘れてる）
- ・ルートを定める。（すでに心ここにあらず）

この入院期間中だけでも「治療」のため、三春、日光、下仁田、金沢等を訪れている。本当に病院でじっとしてられず、奥さん・家族・担当医を困らせながらも遠くへ巡検に行きたかったのだろう。

そして、2008 年 12 月 17 日、白野さんは本当に遠くへ逝ってしまった。今、どこを巡検しているのか分からない。

地理を一緒に楽しみ、多くを教えてくれた白野さん、さようなら。ありがとう。

### 追記

次ページ以降にあるのは「高教研社会科部会地理分科会等の活動に関する年表」である。この年表は、私が地理分科会事務局だった当時作成し公開を考えていたが、転職等で実現しなかったものである。本文でも若干ふれたが、これら活動の多くに白野先生は参加されるとともに、表に出ない立場で支援されていた。未完の部分もあるが、この場に本表を掲載することを白野先生なら許してくれる考え、掲載させていただきたい。

年月日	当番校 会場	講師(所属) 発表者(所属)	講演題目 発表題目	巡検コース	資料集数* 頒布価格	事務局	
36(61)年 6/16-17:金土	第二長岡 (現大手)	井上春雄(信州大) 池 政栄(指導主事)	地理学の本質論	小千谷発電所-十日町流文工業-十日町段丘			
37(62)年 9/21:金 11/5-6:月火	羽茂 柏崎	山崎久雄(新潟大) 滝瀬良明(横浜市立大) 山田源行(指導主事)	現代地理学と社会科 高校地理教材取扱の実例	なし 荒浜・椎谷の海岸段丘-潟町人工島-西山油田			
38(63)年 11/4-5:月火	中条	木内信蔵(東京大)	現代の都市化に関する諸問題	胎内川扇状地-黒川村-ガス田-砂丘地の集落-新発田			
39(64)年 11/4-5:水木	直江津	尾留川正平(東京教育大) 中村憲三(指導主事) 公開授業	歌米における地理学の動向 日本における地理教育の問題点	直江津港-信越火力発電-大潟-帝石プラント-頸城村-信越化学-三菱化成		「新潟市北部砂丘地域(野外調査の参考資料)」作成B5版が印刷	
「新潟市高校地理教育研究会」結成、会長：丸亀金作(新潟高校長)、会員14名							
40(65)年 不明							
41(66)年 6/27-28	両津	菊地利夫(千葉大) 研究発表	近世における新田開発とその社会経済的意義 欧州のスライド紹介	佐渡の海岸段丘			「読図資料集」(市高校地理教育研究会)発行B5版P.35
42(67)年 10/6-7	見附	町田貞(東京教育大) 村川三男(新潟南)	信濃川中・下流の地形 ブラジル北東部の土地と人々 読図と図上作業	信濃川中・下流部(長生橋-与板橋)			
		地理資料編集会の設立 指導者：小林正直(社会科部長) 伊里修一(指導主事)		新潟市を中心に活動			

01/07/25

地理分科会活動歴

43(68)年	地理分科会の設立(資料集刊行のため) 顧問：池・伊里，会長：小林，副会長：阿部，幹事長：川，幹事；その他14名，会計監事3名 「地理資料集」初版発行					「新潟県高校地理資料」初版発行 19602*¥100
6/1:土	新潟中央	榊原康男(教科調査官)	地理指導上の問題点			
10/1-2:火水 11/16:土	新発田 新潟中央	町田貞 伊里修一(指導主事) 小林正直(新潟中央校長)	地理資料作成の経過報告と訂正についての研究協議 新潟海岸の地形，図上作業の実習 ソ連を旅して(スライド中心) 研究協議：アンケート整理結果中心に 分科会協議会：改訂増補版原稿の作成	新発田-北部砂丘-工業港-臨海埠頭-日和山-新潟		
44(69)年 5/24:土	新潟中央	榊原康男(教科調査官) シボジカ：資料集の効果的活用と今後の改訂について	高校地理教育の諸問題 田端与利男、桐山和雄、大橋武夫、田波竜一、種村盛幸、松崎清、堀公尚			?
10/7-8 11/22:土	五泉商業 新潟中央	市川正巳(東京教育大) 野村正七(横浜国立大)	高校地理における自然教材に関する諸問題 高校地図教材の諸問題 分科会協議：アンケート結果中心に資料集原稿内容の協議			
45(70)年 5/30:土	新潟中央	榊原康夫(教科調査官)	「新指導要領A・Bについて」 地理資料に関する研究協議 大気循環と気候の分布-77の気候と日本の気候-	妙高高原-野尻湖-中頸城-直江津	19602*100	
10/6-7:火水	高田	股楽寛(東北大)				
46(71)年 5/15:土	新潟中央	榊原康夫(教科調査官)	高等学校地理A・Bの要点(HSGPの紹介) 地理資料に関する研究協議含む	なし		?
47(72)年 6/9:金 11/2:木	新潟中央 六日町	榊原康夫(教科調査官) 坂東克彦(新潟水俣病担当弁護士) 高校教員5名	「地理B」の指導をめぐる諸問題 次年度実施の新課程対応「資料集」作成の協議 「公害と地域生活」 研究発表(各校での新課程実施動向の調査研究を含む)	なし		?
新課程対応版発行準備：9月：原稿執筆要領：12月入札(富士波・法令・帝国)						
48(73)年	新課程実施：「地理A」と「地理B」					新課程対応版発行

01/07/25

地理分科会活動歴

5/26:土	新潟中央	谷岡武雄 (立命館)	情報化時代における地誌教育のあり方 新刊『行と編集に関するアンケート』		18529*150	
49(74)年 7/11:木	新潟中央	岸本実 (立正)	発展途上地域における人口の諸問題について-特にアフリカを中心として-		18550*¥190	
11/29:金	長岡大手	山本正三 (東京教育大)	農業地理学の現代的課題			
50(75)年 6/27:金 10/17-18	長岡大手	有末武夫 (群馬大) 浮田典良 (京大)	日本の交通問題について 西ヨーロッパの地誌		17706*¥190	
51(76)年 5/28:金 10/18-19:月	新潟中央 糸魚川 *地理講習 センター	川合元彦 (都立教育研究所教科研究部長) 渡辺秀雄 (糸魚川第二中学校長) 杉村暢二 (教科書調査官)	地理指導の問題点を考える 青海小滝のカルスト地形 商店街調査	糸魚川-明星セント-福来口-青海電化-市振-姫川港-直江津	18656*¥200	
52(77)年 5/12(木) 6/7-8(火・水) 10/31-11/1	新潟中央	分科会総会 村上 横山貞裕 (国士館) 松代 福宿光一 (埼玉)	村上の城下町の形成について 山村の地理	「城下町と伝統産業」(村上周辺) 「山地農業村」(高柳-松之山)	17155*¥200	
53(78)年 6/9-10(金土)	燕	板倉勝高 (東北) 加藤新蔵 (日本輸出金具洋食器工業組合専務理事)	地域と工業 燕産地の抱えている問題点	「発展途上国の追い上げ-円高にゆらぐ燕の金具洋食器及び厨房用器物」(燕周辺)	16311*¥200	
54(79)年 5/25(金) 10/25-26(木)	沼垂 湯沢	篠原昭雄 (教科書調査官) 鈴木郁夫 (新潟)	アンケート調査: ¥200から¥250のアップと32ページの増補 新指導要領のねらいと地理教育の動向 気候地形	湯沢-塩沢-六日町-浅貝	16858*¥260	新潟
55(80)年 5/27(火) 10/23-24(木)	新潟 高田南	正井泰夫 (筑波) 山村順次 (千葉)	アメリカ地誌-アメリカの自然環境とその利用形態- 日本観光地の地域展開	*地形図を8ページ増 赤倉-関見, 関山-笹が峰-福海	16863*¥260	鏡ヶ岡 (堀・中島)
56(81)年	9月に57年以降の「地理履修状況」「57・58・59年の資料集採用見込み調査」実施。 結果: 57年の採用見通しは約850冊、従い57年度は休刊とする (58年度は約8000冊であり、発行の予定)。 研究会は、年一回の開催とする。					

01/07/25

- 3 -

地理分科会活動歴. jtd

10/15-16(木)	長岡大手	竹内淳彦 (日本工業)	機械工業の地域的しくみ-長岡の工場集団をめぐって-	長岡機械工場-鉄工団地-ニュータウン-岩塚 と兼-朝日山酒造	17571*¥260	
57(82)年 10/7-8(木金)	新課程実施: 「現代社会」の必修, 「地理」は選択科目へ					
	相川	太田陽子 (横浜国立)	佐渡の海岸段丘	二見半島	休刊	明鏡 (堀)
	12月に、仮予約とアンケート「58年仮予約数・59年利用予定数・59年研究会希望調査」					
58(83)年 6/27-28(月)	加茂農林	市川健夫 (東京学芸大)	文化的視点からみた地理学	三条・加茂	7229*¥370	新潟南 (伊里)
59(84)年 6/26-27(火)	見附	渡辺利夫 (筑波大)	アジア開発の20年は何をもたらしたか	見附-栃尾-山古志-長岡	?	
60(85)年 10/27-28	六日町 刈-高原H	赤羽孝之 (上越教育大)	「先端技術産業の立地動向」	六日町-浦佐(大崎, 水産)試験場-小出- 小千谷(オグサ):76名	49校 7160*¥370	
61(86)年 10/27-28(月) *教育センター	新潟北 厚生年金 7/28-29	磯部利貞 (新潟大) 池田庄司 (新潟大) 高橋彰 (東京大) 高津武彰 (新潟大) 鈴木昌清 (黒埼高) 堀谷尚 (新潟南)	「農業問題-日・米の米問題-」 「新潟県の地域おこしの現状と課題について」 高等学校社会科研修講座「地理」 「東南アジアの新しい姿-アジア研究者が地理教育者に望む」 「欧米に見る都市の現状と諸問題」 「試行錯誤の中の地理-生徒のもっている素材を引き出す」 「高校「地理」における「世界の地域」の指導について」	流通センター-東港-ユブケカ-駅南開発 「都市の再開発を中心に」75名 巡検なし 23名	35校 4909*¥370	新潟中央 (角原)
62(87)年 10/27-28(火) *教育センター	高田工業 Hイカヤ 6/25-26	鈴木敏紀 (上越教育大) 高橋裕 (前東京大) 堀谷圭司 (新潟大) 中村義隆 (教育センター) 鈴木昌清 (黒埼高)	「第四次全国総合開発計画と日本経済の行方」 大会テーマ: 産業構造の転換期における地域開発 中・高等学校社会科研修講座「地理」 「日本の治水の伝統と現況」 「野外調査、読図指導のあり方」 「亀田郷の概観と治水組織の発展」 「亀田郷と地理学習-巡検コースと研修事項」	上越大-正善寺が-新井工業団地-岩の 原アト'園-関野製菓-アト'センター-信越化学 57名 親松排水機場-天野田信濃川河道-亀田 郷土地改良区-新潟鉄工 31名	32校 5520*¥370	
63(88)年 10/26-27(水)	新潟田南 胎内パーク	村根 勇 (筑波大) 伊藤孝二郎 (黒川村長)	「越後平野の自然的特徴」 「村おこし」	胎内平-日立中条工場-ア'ラ'ス工場-紫 雲寺町役場-菊水酒造: 62名	29校 5568*¥370	
H1(89)年 10/18-19(水)	柏崎常盤 柏崎産文 H'ン'イン	黒崎千晴 (歴史地理学会 会長) 武内均 (新潟高校) 中村直樹 (高志高校)	「国際化と地理教育」 「地理学習帳の利用実践報告」	柏崎刈羽原子力発電所-米山山荘-赤岩 が-柏崎海浜公園-マリナ 68名	「地理学習 帳」初版発 行	長岡 大手

01/07/25

- 4 -

地理分科会活動歴. jtd

*教育センター	6/26-27	高島徹(燕工業高校) 野本雅裕(佐渡女子高校) 伊藤司(小千谷高校・定)	小・中・高・社会科研修講座 「県内の地理資料の作成について」 「江戸時代の越後の新田の開発について」 「越後の流通機構について」 「越後と良寛について」 「北越雪譜と越後の文化について」 「歴史認識を深める問題構成と強度資料の活用」	なし 44人	42校 1572*¥410	(種 村 杉 本)
H2(90)年 10/30-31(火)	新津 お小柳	桑原滋夫(柏崎高校) 伊藤司(小千谷高校・定) 西山耕一(高田高校) 志村喬(新潟向陽高校)	「コンピューターを利用した教材開発」 「コンピューター使用による地理教材の作成」 「地理学習帳の使用例」 「地理学習帳を使用した授業実践」 高等学校社会科「地理」講座 「新潟県の風土と文化」 「地理授業における資料の活用」 「東港巡検案内」	蒲ヶ沢製鉄遺跡-石油の里-花き総合セ ンター-鉄道資料館 45名  東火力発電所-コブケミカ 16名	30校 5088*¥440	沼垂 (島 本)
H3(91)年 10/23-24(水)	糸魚川 糸商工 市民会館 国富旅館 8/19-20	池原静雄(糸魚川高講師) 桐山和雄(糸魚川商工)	「フォッサマグナ北西部の地形・地質について」 「糸魚川海岸の変遷」  高等学校社会科「地理」研修講座 「地理の指導法及び教材の開発について」「地理的意識 の発達傾向について」 「西蒲原巡検案内」	23日:市民会館-小滝川ヒスイ峡-姫川温泉 24日:フォッサマグナパーク-仁王堂-明星センター 電気化学工業-親不知子不知-姫川 港-糸魚川物産会館 60名  笹祝酒造-農業大-月瀧村 25名	24校 3386*¥440	
H4(92)年 10/22(木)-23	村上女子 奨学会館 ハマス荘 8/20-21	須藤和夫(朝日新聞記者) 長谷川勲(村上武家屋敷 保存会会長)	「村上城下の貧乏文化-三面川・村上茶・村上堆朱から」 「城下町の町並保存」  高等学校社会科「地理」研修講座(詳細不明) 「地理教育・都市地理学について」 「新潟市街巡検案内」	鮭採取場-内水面漁業資料館(伊勢ヶ 会館)-郷土資料館-若林邸-ブドウ-岩舟 港 58名  市役所-堀跡-西堀地下街-第一港湾	2600*¥440	
H5(93)年	燕工業 県央地場 産業センター 田の浦荘	青柳芳郎(日本用食器工 業組合) 竹田正敏(信濃川工事事 務所)	「燕洋食器業界の現状と中国人研修生の受け入れについ て」 「信濃川と大河津分水について」	大河津分水資料館-分水町松下工場-八 幡林遺跡-寺泊アジ横-燕産業資料館-燕 遠藤製作所	5209*¥540 改訂新教材 「高校地理 」刊行	

01/07/25

- 5 -

地理分科会活動歴、ju

H6(94)年 10/20(木)-21	有恒 上越ウイング お小柳	早津賢二(妙高火山研究 所) 新田鐘大(上越ウイング)	「妙高火山の形成史と崩壊」  「国内最大のショッピングセンターウイング」について	妙高山麓地形・妙高ハイパー-岩の原衛 團園-三和村酒の蔵蔵-保倉川蛇行跡徒 歩巡検-上越ウイングSC	5209*¥540	新発 田 (山 内・ 吉田)
H7(95)年 10/26(木)-27	佐渡女子 両津市花 月お小柳	神藤勝明(両津高校)	「佐渡加茂湖周辺の上部更新世」	鷲崎・弾崎-二つ亀(海食崖徒歩)-入川- 平根崎波越穴群-仙閣湾-相川-大佐 渡お小柳-両津	2519	
H8(96)年 10/3(木)-4	新潟高校 新潟会館	中藤康俊(富山大学) 植村敏秀(前西新発田高 校長)	「環日本海時代時代における都市-新潟の将来像-」 「スライドにみる新潟の今昔」	新潟東火力発電所-沈埋コンクリート製 作ドック-コンテナ埠頭-トリクリーン-新潟空港-新潟港 館-新潟中央銀行	2264	新潟 南(石 原 佐藤)
H9(97)年 10/23(木)-24	五泉高校 花咲温泉 望川閣	駒形豊(県民俗学会会長)	「特異な民間信仰 阿賀路のしょうき様」	関川-トト-村松町城下遺構-村松町郷土 資料館-東北電力揚川発電所-吉田東伍 記念館-ヤスダヨーグルト工場	1374 (10校) 以降休刊	
H10(98)年 10/8(木)-9	十日町高 同上	大嶽幸彦(上越教育大学)	「ヨーロッパ連合に関する諸問題」	マツバ-津南-沖野原段丘面-名水「竜 が窟」-吉澤織物(昭和町工場)-浅河原 調整池-千手発電所-十日町博物館30名	休刊	新潟 西(浜 田・志 村)
H11(99)年 10/21(木)-22	新潟高校 上越市雁 木通りプ ラザ	久保田好郎(上越市史編 纂室長) 平田真義(高田高校)	「城下町高田の歴史と町並み」  「実物教材を用いた授業の実践例」	雁木通りプラザ-大町通り(二七の市・ 神林提灯屋-いまい染め物屋)-一本 町七丁目)-東本町通り(町田醤油味 噌醸造所・竹田雪下駄屋)-稲田(北 陸農業試験場)-一本町三丁目(マクドナル ド)-仲町通り・寺町通り-浄興寺 参加者30名(徒歩巡検)	休刊	
H12(2000) 10/3(火)-4	新発田高 校 月岡温泉 お小柳清風 苑	伊藤文吉(北方文化博物 館長) 樋口清(お小柳清風苑社長) 魁尾衛(サントピアワールド常 務取締役) 斉藤義信(新潟南高校) 佐藤基也(新発田高校) 志村喬(新潟西高校)	「旅から見える世界の文化」  「月岡温泉の今」 「遊園地市場の変化と当社の対応」  「試験問題検討会」 (3人の教員が定期考査問題を持ち寄り検討会を開催)	現地見学会(真光寺ビレッジ、サント ピアワールド) 参加者35名	休刊	

01/07/25

- 6 -

地理分科会活動歴、